

## 学校図書館支援センターだより

新居浜市教育委員会学校教育課  
新居浜市一宮町一丁目5番1号  
TEL (0897)65-1301

## 2022年 第76回「読書週間」について

## 期 間

令和4年10月27日(木)～11月9日(水) ※文化の日を中心に2週間

## 標 語

『この一冊に、ありがとう』

## ポスター



## 〈作者のことば〉（応募数742点の中から選ばれました）

読書で心が震える体験は、何物にも代え難い奇跡のようなものだと思います。そして、自分の未来にはそんな奇跡がまだまだたくさん待っているという妙な確信もあります。本に関わっているすべての人に感謝を伝えたいです。

## マーク



この鳥は 何でしょう？

## 〈由来〉

その昔、ギリシャ神話の世界で「ふくろう」は、学問・技芸・知恵を司る美貌の女神アテナの使者であり、また、代表的なポリスで文化の中心地アテナイ（アテネ）の聖鳥でもありました。

古代のギリシャ人たちは、賢そうな丸い目ですまし顔の「ふくろう」を知恵の象徴として大切にしていたといいます。

森の奥ふかく、静かに瞑想にふけるこの「ふくろう」の姿こそ、読書週間のシンボルマークとしてもっともふさわしいものと考え、読書推進運動協議会では長い間使用してきました。

## 歴 史

終戦まもない1947年（昭和22）年、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているなかで「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって、11月17日から、第1回『読書週間』が開催されました。そのときの反響はすばらしく、翌年の第2回からは期間も10月27日～11月9日（文化の日を中心にした2週間）と定められ、この運動は全国に広がっていきました。

『読書週間』は、日本の国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民の国」になりました。

『読書週間』が始まる10月27日が、「文字・活字文化の日」に制定され、よりいっそうの盛りあがり、期待いたします。

『こども読書週間』は1959年に始まり、「こどもの日」をはさんだ、4月23日～5月12日の3週間です。

## 小学校における図書館を活用した授業

小学校の国語の教科書には、3年生「ちいちゃんのかげおくり」、4年生「一つの花」、5年生「たずねびと」と戦争に関する物語が出ています。子ども達は、戦争についての時代背景が分かりません。学校司書が戦争の本をテーマにブックトークを行い、教材に出てくる言葉の意味や時代背景を理解できるようにしています。

### 船木小学校4年生「一つの花」 戦争の本のブックトークから戦争についてグループ学習



『せんそうってなんだったの！』  
食べ物あると思う？雑炊って食べたことある？配給って何？



『さくら』  
何を想像する？「桜の咲く頃に僕らは生まれた。戦争が始まっていた…」大人になった桜の木が僕に囁きかけてくれる。何と囁いたのでしょうか。



『ヒョウのハチ』  
戦争で犠牲になったのは人間だけではなく。動物たちに毒入りの食べ物を食べさせます。



『すみれ島』  
『一つの花』と同じ作者です。特攻隊の人に、お手紙を書き、すみれの花束を贈ります。なぜ、すみれ島と呼ばれるようになったのでしょうか？ 他2冊紹介



〈担任の先生からの指示〉  
机の上に戦争の時代のことが書かれているプリントを置いてあります。一枚選んで、本で調べて付箋に大事なところを書いて貼ってください。



#### 〈グループ活動〉

調べる言葉…召集令状（赤紙）、学童疎開、戦争時代の遊び、空襲、配給制、代用品  
一人一つ説明できるように関連する本を選んで、付箋に分かったことを書いていきます。  
読んで説明できる人は書かなくても構いません。  
まとめられたら、グループの中で一人ずつ友だちに説明していきます。説明の後に質問があれば答えます。



#### 〈学習の最後の担任の言葉〉

みんなが暮らしている時代とは全く違うけど、みんなのひいおじいさん、ひいおばあさんの時代に本当にあったことです。これをふまえて、「一つの花」のお話を読んで欲しいです。配給という言葉も分からなかったけど、分かりましたね。

## 学校の図書館の館長は誰でしょう？

### 〈文部科学省 学校図書館ガイドラインより〉

校長は、学校図書館の館長としての役割も担っており、校長のリーダーシップの下、学校経営方針の具現化に向けて、学校図書館全体計画を策定するとともに、教職員の連携の下、計画的・組織的に学校図書館の運営がなされるよう努めることが望ましい。

### 学校図書館の館長さんは、校長先生です。

新居浜小学校の校長室の入り口には、「校長先生のおすすめの本」コーナーがあります。

9月のおすすめの本は、「がんばれちびくじら」「ガラスのなかのくじら」の2冊です。言葉には、読み仮名付きで次のように書かれています。

「世界で一番大きい動物がクジラです。クジラを題材にした本は多くあります。絵本から初めて、クジラの生態や種類など、調べてみると面白いですよ。」

また、各クラスへの読み聞かせもしてくださっています。



〈校長室前の掲示〉